



上北圏域の市町村（十和田市・三沢市・野辺地町・七戸町・六戸町・横浜町・東北町・六ヶ所村・おいらせ町）が、県、国と連携して取り組むべき重点事業について県に要望書を提出しました。

11月27日に行われた知事と市町村長の意見交換会では、小山田市長が宮下知事に対し、最重点要望1件、新規要望1件の合計2件について、直接協力を求めました。

最重点要望 1 放置遊覧船への対応について

市 十和田湖畔の宇樽部棧橋には、遊覧船4隻が不法に係留されたまま放置されており、景観の悪化、環境への影響などが懸念されるほか、避難港として宇樽部棧橋が使用できない状況が続いている。

十和田湖は、国立公園制度100周年事業に向けた記念事業の候補地に選ばれており、景観、受入体制の整備のためにも、早期に撤去していただきたい。

県 県としても事業者撤去を求めているが、なかなか進まない状況である。引き続き、十和田市をはじめ関係機関と協力しながら取り組んでいきたい。



新規要望 2 持続可能なサケふ化放流事業について



市 奥入瀬川をはじめとする当圏域の河川では、サケの回帰尾数が著しく減少しており、稚魚の生産に支障を来している。サケふ化放流事業が衰退しないよう、①親魚確保体制の強化、②稚魚生産体制の強化、③関係機関、関係道県との連携強化の3点をお願いしたい。

県 サケの不漁は、県全体の課題であると認識しており、県では、移入卵・親魚の購入経費、ふ化場の生産コスト上昇分に対するの支援などを9月補正で実施している。要望があった件について、今後対策を検討したい。

また、国の水産研究機構などと連携するとともに、事業者との協議の場を設けていきたい。

本市では、1・2の要望のほか、17件の重点事業について要望しています。

その他の要望事項

3	自治体DXの推進について	12	高速交通網へのアクセス強化について
4	三沢空港発着路線の維持・拡充等について	13	主要地方道三沢十和田線の整備について
5	人口減少克服に向けた施策の充実について	14	八戸・十和田・小坂間の道路整備について
6	学校教育におけるICT機器の更新に対する財政支援について	15	一般国道103号奥入瀬(青楓山)バイパスの整備について
7	三沢空港の周辺環境整備に向けた支援について	16	奥入瀬溪流における公衆トイレの整備について
8	消費生活相談員の育成への支援及び恒久的な財政支援について	17	一般国道102号の整備について
9	感染症病床を有する病院への財政支援について	18	二級河川奥入瀬川の河床整理について
10	周産期医療関係医師の確保について	19	外国人観光客の誘客強化について
11	子ども医療費の無償化制度の創設について		